※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史とは社会や文化、思想から地形までの、ありとあらゆる人間の営為の変遷を記したものである。そこには、過去の出来事などから、なぜそれが起きたか、その理由や関係性を考え、その教訓を現代に活かすことができる。その積み重ねから、我々が過去の人々の叡智や失敗から学び、現代にいかすことが、歴史を学ぶ意義である。

2　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする能力を養う。
・日本の文化と伝統の特色についての認識を深める。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章　日本文化のあけぼの	1　文化の始まり 2　農耕社会の成立	a:日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を理解している。水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 b:黒曜石などの考古資料をもとに旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察し表現している。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第2章　古墳とヤマト政権	1　古墳文化の展開 2　飛鳥の朝廷	ａ：推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や古墳・飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 ｂ：中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第3章　律令国家の形成	1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	a:平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解し、東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、諸政策や文化の変容を理解している。 b:政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容などを考察し、根拠を示して表現している。中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c:平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表

※令和４年度以降入学生用

	第4章　貴族政治の展開	1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士	a:地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 b:奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c:摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとし、平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第5章　院政と武士の躍進	1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	a:貴族政治や土地制度の変容などをもとに、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b:武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c:中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて中世の特色を探究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第6章　武家政権の成立	1　鎌倉幕府の成立 2　武士の社会 3　モンゴル襲来と幕府の衰退 4　鎌倉文化	a:源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b:幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第7章　武家社会の成長	1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の登場	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 b:自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表

※令和４年度以降入学生用

2	第8章 近世の幕開け	1 織豊政権 2 桃山文化	a：村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易･対外関係について理解している。 b：織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第9章 幕藩体制の成立と展開	1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	a:幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b：戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第10章 幕藩体制の動揺	1 幕政の改革 2 宝暦･天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	a：幕府・諸藩の経済的窮乏、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。幕藩体制下の社会の変容に着目して、列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 b：国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第11章	1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	a:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 b:日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表

※令和４年度以降入学生用

	第12章 近代国家の成立	1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第13章 近代国家の展開	1 日清･日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	a：日清・日露戦争から第一次世界大戦を経て、ヴェルサイユ体制･ワシントン体制に至る経過などを考察し、理解している。 b：大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：対外戦争がもたらした国内的･国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第14章 近代の産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	a：産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 b:地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、近代産業や明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
3	第15章 恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a：政治・経済体制の変化に着目して、軍部の台頭と対外政策について理解し、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係について理解している。 b：当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表

※令和４年度以降入学生用

	第16章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	a:第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 b:地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 c:現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第17章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	a:冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 b:日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 c:55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表
	第18章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	a:ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 b:国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシート・レポート・定期考査	グループワーク・レポート・ワークシート定期考査	レポート・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度